

兵機海運株式会社

2027年3月期　第2四半期

決算説明資料

証券コード 9362

1 2027年3月期 第2四半期業績

2 2027年3月期業績見通し

3 株主還元

4 Appendix

-会社概要
-事業概要
-当社の強み・特徴
-ビジネスモデル
-TOPICS
-参考資料

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.



2027年3月期 第2四半期業績

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

内航事業が低調であったものの、外航事業が大幅な増収となるとともに
港運事業、倉庫事業が順調な業績推移となり全体では約20%の大幅増収。
燃料、人件費など各種コストの上昇があったものの、各段階利益は増益を確保。
受取配当金、受入手数料の計上もあり、中間純利益は約35%の大幅増益。
増収および第2Q時点の利益状況を踏まえて、通期業績予想を上方修正

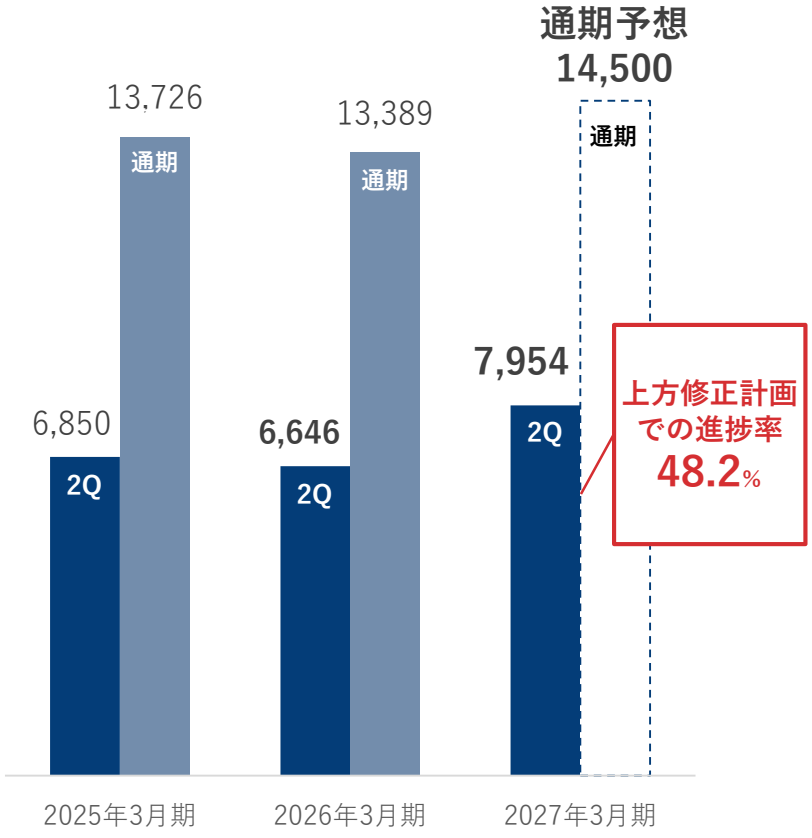
（単位：百万円）

	2026年3月期2Q実績		2027年3月期2Q実績		対前年同期比率	通期予想（10月30日公表）	進捗率	通期予想（期初計画）※参考	進捗率
	実績値	対売上高比率	実績値	対売上高比率					
売上高	6,646	-	7,954	-	119.7%	16,500	48.2%	14,500	54.9%
売上総利益	1,249	18.8%	1,289	16.2%	103.2%	-	-	-	-
営業利益	220	3.3%	234	2.9%	106.1%	530	44.2%	510	45.9%
経常利益	258	3.9%	286	3.6%	110.8%	600	47.7%	540	53.0%
中間純利益	178	2.7%	242	3.0%	135.9%	440	55.1%	400	60.6%

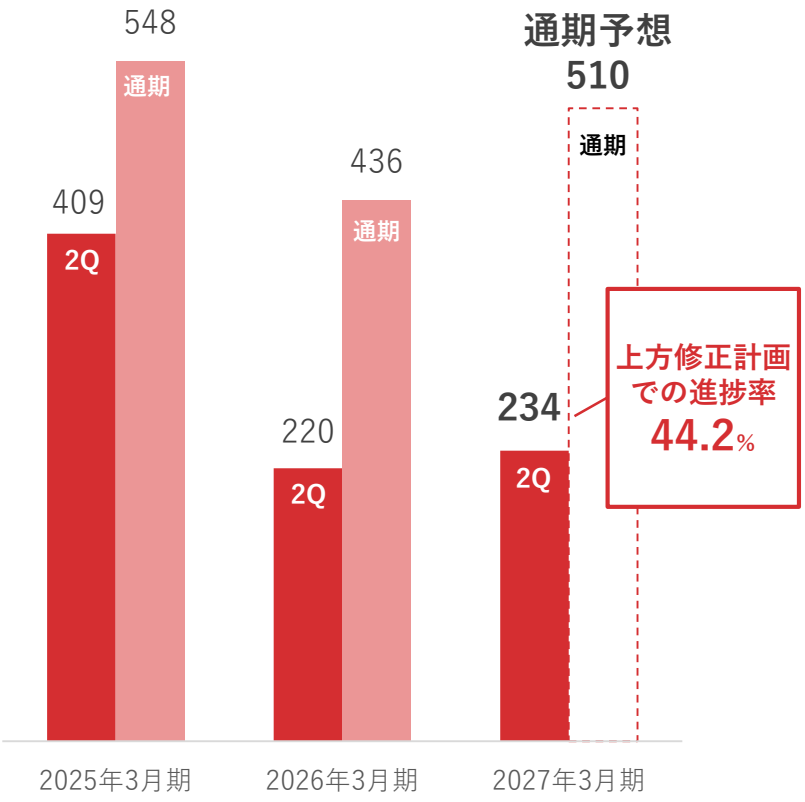
Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

売上高は前年同期比で約20%増収。通期進捗率も約55%の順調な推移。営業利益は各種コスト増の影響を受け、前年同期比で約6%増益に留まる

売上高 （単位：百万円）



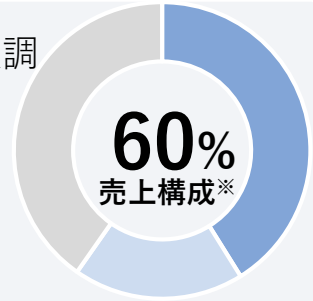
営業利益 （単位：百万円）



Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

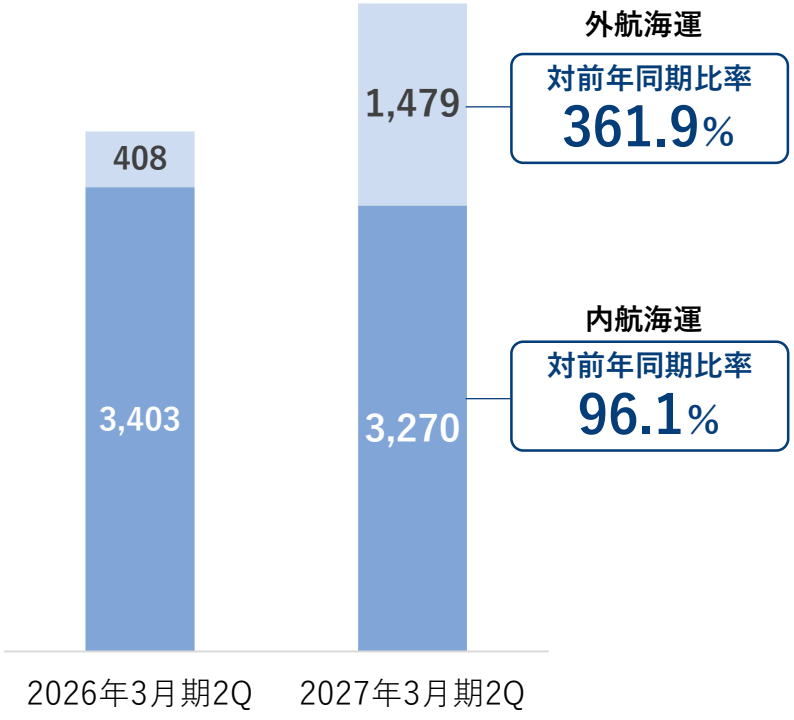
内航海運｜鉄鋼製品の国内需要の低迷、船舶燃料費高止まり等のコスト上昇を受け、軟調な業績推移。社船「HKL菊水」就航、旧社船売却を行い船団の刷新を実行。

外航海運｜従来の収益基盤に加え、建機類の中東向けスポット案件の受注や顧客への物流提案、他部門と連携したODA案件の受注により収益が拡大。

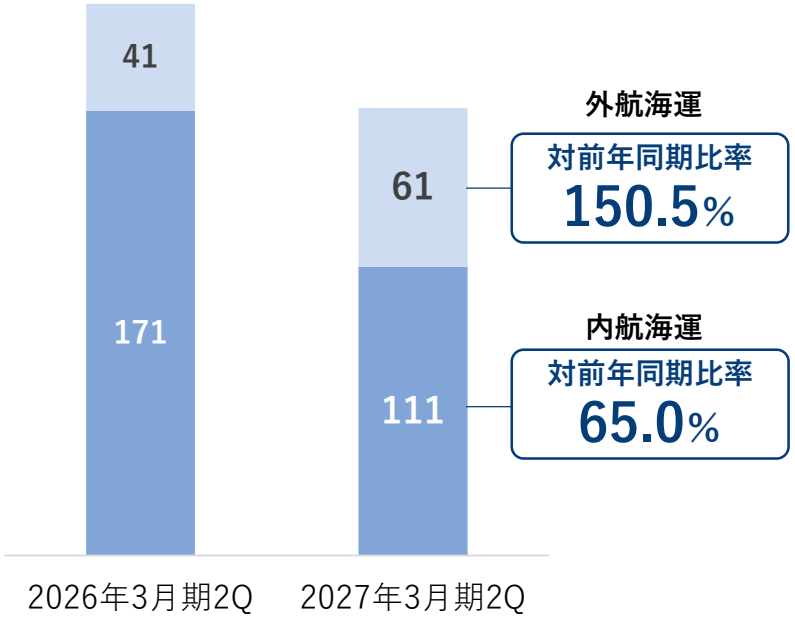


※2027年3月期2Q売上高に占める事業の売上高

売上高 （単位：百万円）



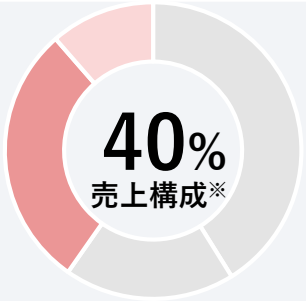
セグメント利益 （単位：百万円）



Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

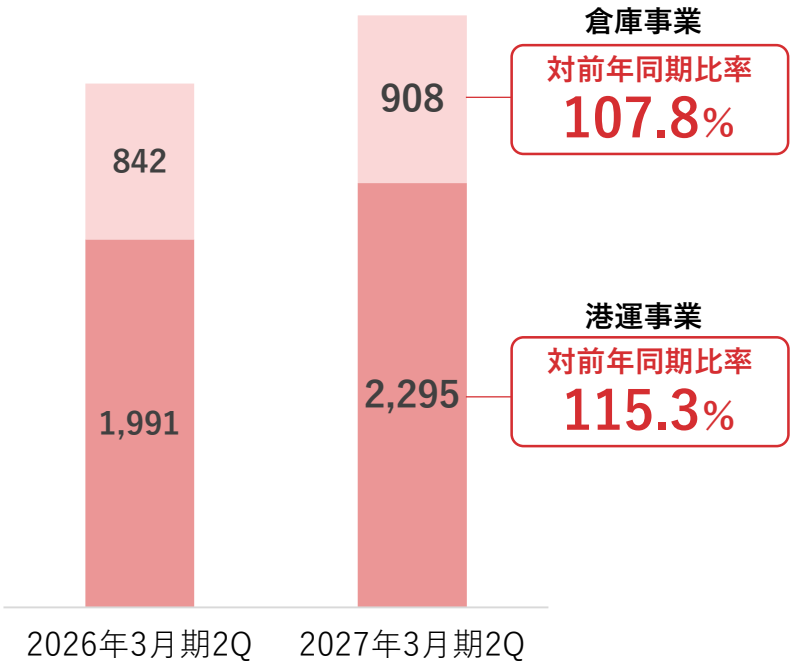
港運事業｜輸入食料品などの通関取扱拡大の継続に加え、データセンターやパワープラントなどの大型プロジェクトカーゴなど輸入関連が好調に推移。

倉庫事業｜主要貨物である鋼材の作業料、保管料の価格改定、保税蔵置場機能を活かした新規貨物の獲得、取扱いコンテナ本数の増加により業績が拡大。

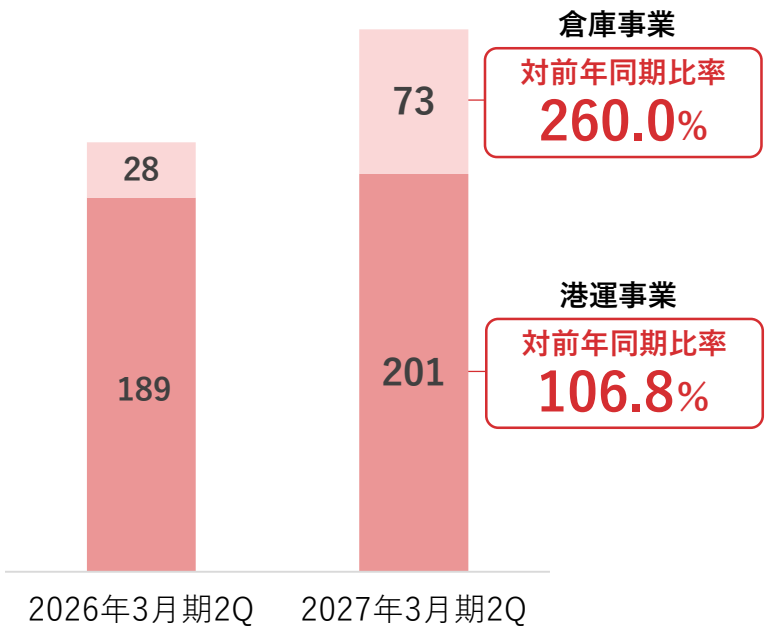


※2027年3月期2Q売上高に占める事業の売上高

売上高　（単位：百万円）



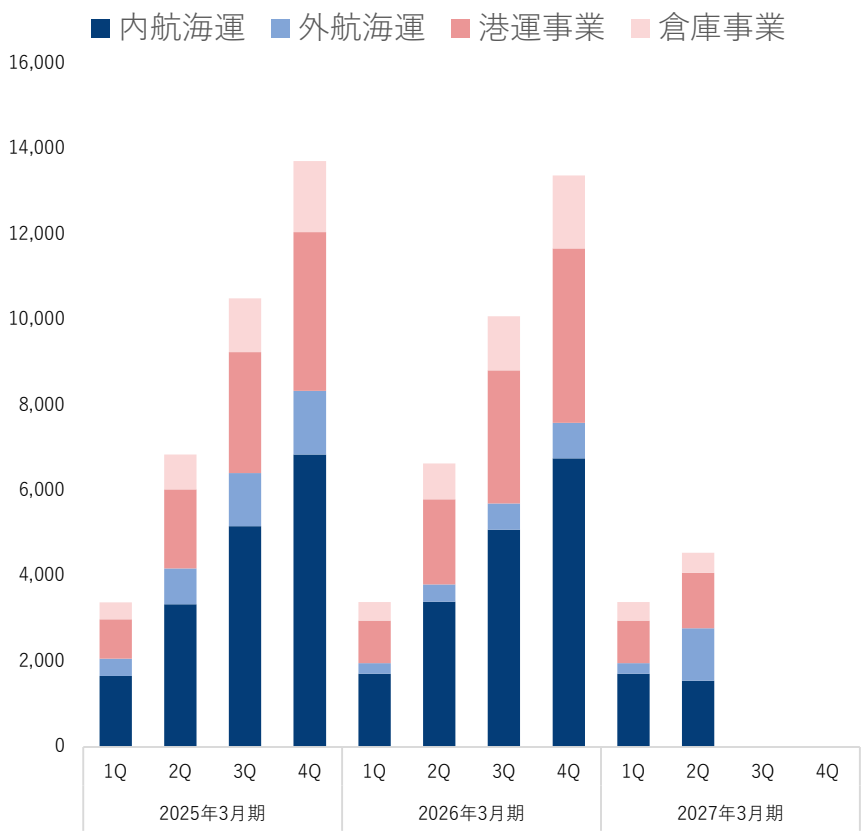
セグメント利益　（単位：百万円）



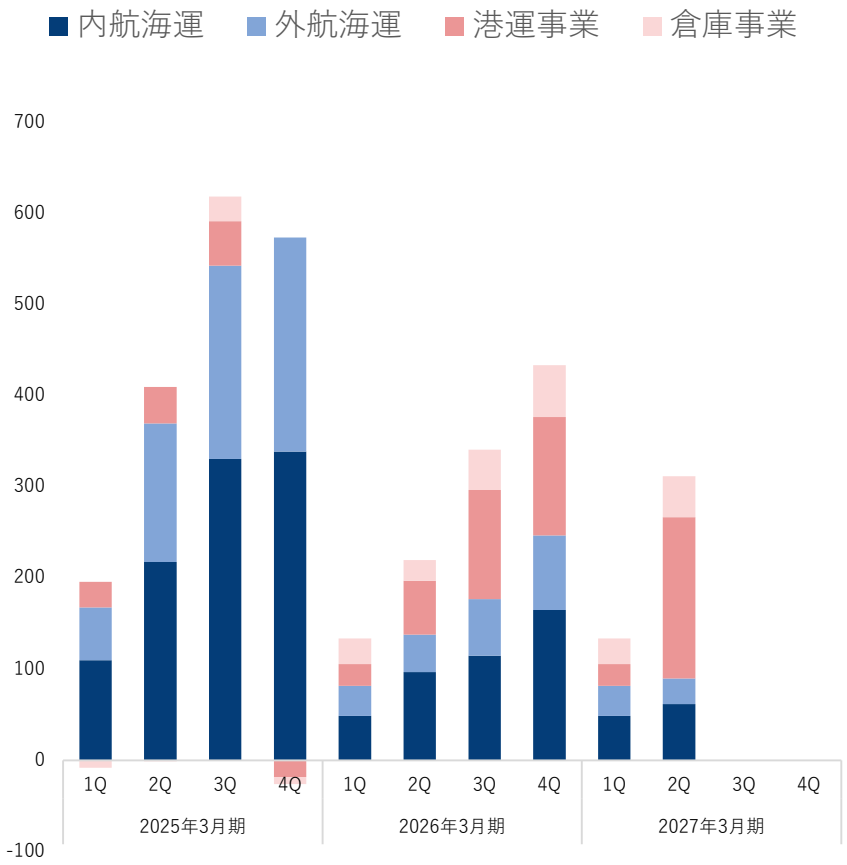
Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

内航事業は、鉄鋼製品需要の低迷等により低調に推移したものの、その他事業の増収増益が寄与し、全体では前年同期を上回りました。

売上高 （単位：百万円）



セグメント利益 （単位：百万円）



Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

自己資本比率は43.9%に上昇。財務健全性を維持。

（単位：百万円）

	2026年3月期	2027年3月期 第2四半期実績	増減
流動資産	3,608	3,782	+174
うち現預金	1,702	1,777	+75
固定資産	9,434	9,806	+371
うち有形固定資産	6,405	6,477	+72
資産合計	13,042	13,588	+546
負債合計	7,388	7,626	+237
流動負債	3,336	3,145	△191
固定負債	4,052	4,480	+428
純資産合計	5,653	5,962	+309
負債純資産合計	13,042	13,588	+546
自己資本比率	43.3%	43.9%	+0.6pt

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

（単位：百万円）

	2026年3月期 第2四半期実績	2027年3月期 第2四半期実績	増減額	内容
営業CF	189	377	＋187	• 税引前中間純利益 355 • 減価償却費 175 • 法人税等 △59 • 利息の支払△30
投資CF	△106	△218	△112	• 固定資産の売却による収入 450 • 固定資産の取得による支出 △665
財務CF	△292	△81	＋210	• 長期借入による収入 1,340 • 長期借入金の返済 △866 • 短期借入金の純減額 △401 • 配当金の支払 △132
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,767	1,777	＋10	

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.



2027年3月期 通期業績見通し

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期の営業方針

1 **収益基盤拡大** -自部門のサービスに囚われず、総合サービスを提案-

2 **部門間連携** -総合サービス提供のための情報共有推進-

3 **生産性向上** -売上増加に加え、採算性を重視した営業を推進-

市場環境の激的変化と世界情勢の混迷を念頭に、通期計画を作成

- 国内では、実質賃金の改善に伴う個人消費の底堅さが期待される一方、労働力不足、原材料不足やエネルギー価格動向が企業収益に影響する見通し
- 海外では、主要国の政策動向や通商摩擦の再燃、中東およびウクライナ情勢など地政学リスクの長期化が国際物流や経済全体に影響を及ぼす懸念が続く

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

内航海運

- **運航停止回避策や海上運賃サーチャージ導入**などの安定運航継続への施策を講じる
- 船員不足や労働環境改善に向け、**関係会社を通じた船員の確保**に加え、**船員直接雇用強化を継続**
- **営業領域拡大**を図るべく、**新たな船種**の可能性を検討

外航海運

- **顧客ニーズに沿った建機輸送の提案、サービス展開**により継続受注獲得を図る
- 近海輸送は**利益率の高い特殊貨物**や**ニッチな輸送品の開拓**を目指す
- **総合物流力**を発揮すべく、**他部署との共同営業や共同提案など連携強化**を図る

港運事業

- 人件費上昇や通関実務複雑化に伴い、**取扱料金および通関料金の改定交渉**に取り組む
- トラック運送事業者との連携強化を図り、**適正運賃の支払い**と顧客に対する**価格転嫁**を進める
- **AI関連事業のデータセンター**や**蓄電池関連のプロジェクトカーゴ**の受注に注力

倉庫事業

- **港運事業部門との連携強化**により、コンテナ型蓄電池を始めとする**重量貨物や危険物貨物などの特殊貨物の集荷営業**を強化
- **ITを活用した効率化**と、**人材確保と技術継承**を図るとともに、**安全教育の強化**を推進
- 姫路倉庫における**鉄鋼中間製品の営業拡大**、および**外部倉庫ネットワークの拡大と活用**を図る

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

中期経営計画「Road to 2027 “シン総合物流企業”への進化と真価」のもと、増収、増益を計画。

外航事業における建機類において従来の中国、中央アジア向けに加えて、中東向けのスポット案件の受注により期初予想から売上が増加する見込み。

増収効果による営業利益増加に加え、受取配当金、期初計画外の受入手数料の計上により経常利益が増加する見込みとなったため通期予想を上方修正。

（単位：百万円）

	2026年3月期実績		2027年3月期予想（2026年10月30日公表）		前期比	
売上高	13,389	-	16,500	-	+3,110	123.2%
営業利益	436	3.3%	530	3.2%	+93	121.4%
経常利益	499	3.7%	600	3.6%	+100	120.1%
当期純利益	397	3.0%	440	2.7%	+42	110.8%
EPS（1株当たり当期純利益）	331.24円	-	366.74円	-	+35.50円	110.7%

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.



株主還元

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

1株あたり配当金

- 2026年3月期：配当金は**110円**、配当性向は**33.2%**
- 2027年3月期：配当性向30％以上とし、**110円を計画**

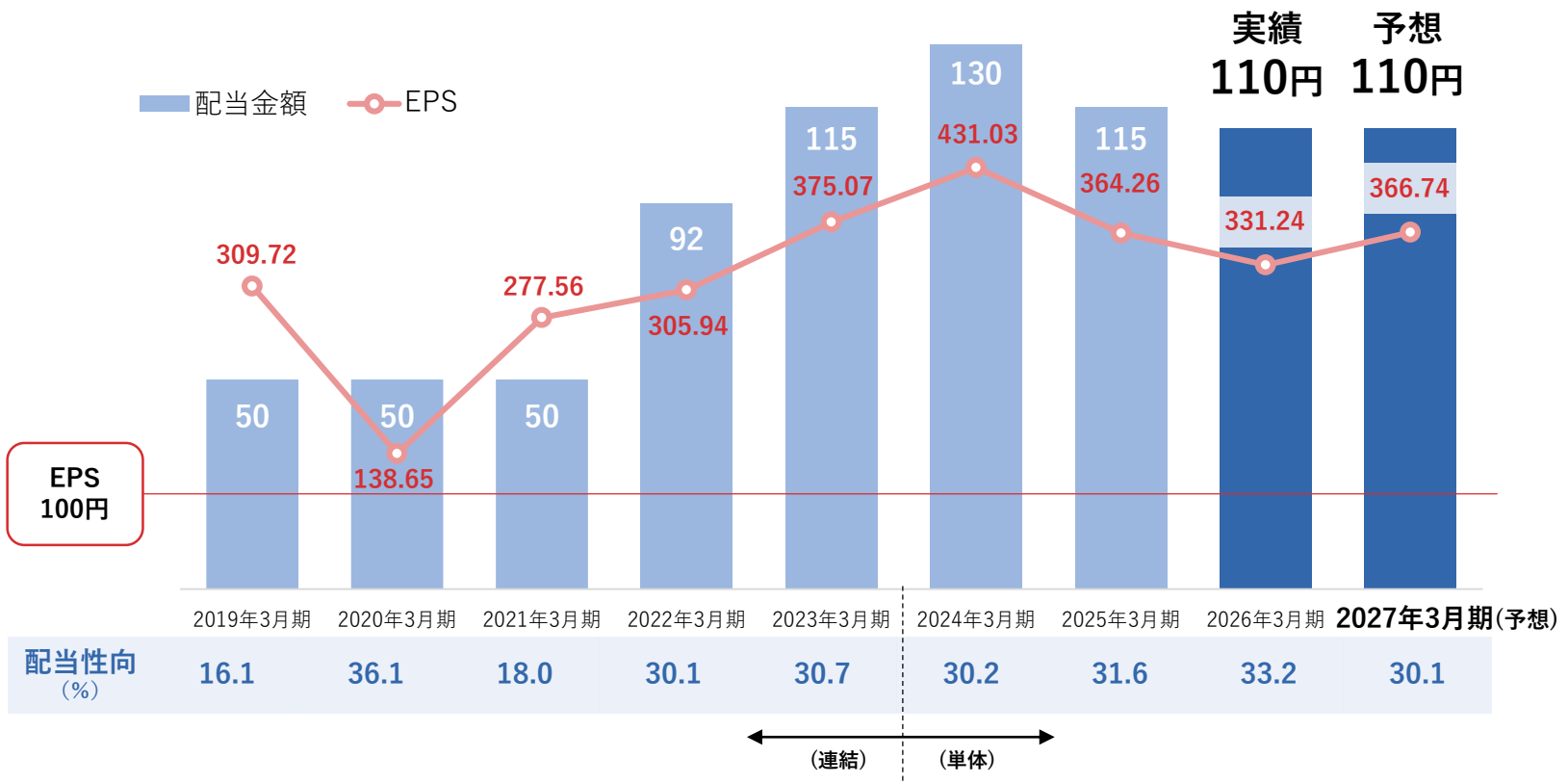
2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期(予想)
1株あたり配当金	1株あたり配当金	1株あたり配当金	1株あたり配当金	1株あたり配当金
115円	130円	115円	110円	110円
配当性向	配当性向	配当性向	配当性向	配当性向
30.7％	30.2％	31.6％	33.2％	30.1％

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

当社は配当方針を「企業業績および今後の事業展開を勘案した安定的かつ積極的な配当」と定めております。安定配当を基本としつつ、EPS（1株当たり当期純利益）が 100円を上回る場合は、配当性向30％以上または1株当たり50円のいずれか高い基 準での配当を実施させていただきます。

配当金・配当性向・EPSの推移

（単位：円）



Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.



Appendix

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

創業80年を超える物流会社

会社名	兵機海運株式会社 HYOKI KAIUN KAISHA, LTD.
代表者	代表取締役社長　大東　慶治
設立	1942年（昭和17年）12月30日
本社所在地	神戸市中央区港島3丁目6番地1
資本金	6億1,200万円
主な事業	内航海運業、外航海運業、港湾運送業並びに港湾運送関連事業、 倉庫業、通関業、貨物利用運送業、国際複合輸送業
従業員数	239名（2026年9月30日現在）
関係会社	株式会社吉美 / 七洋船舶管理株式会社
上場市場	東証スタンダード市場　（証券コード：9362）

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

経営理念

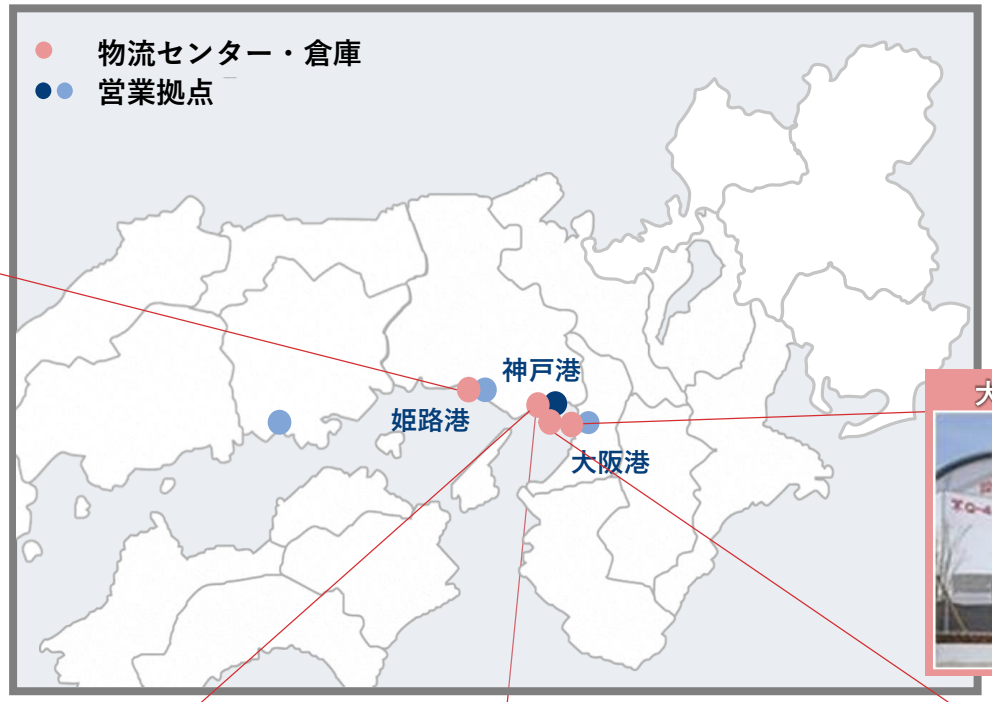
私達は専門知識の修得に努め
高度な見識をもって常に現状の改善をめざします。

私達は感謝の気持ちと謙虚な心をもって
業務に励み信頼される会社を築きます。

私達は総合物流業者として
その業務を通じて社会に貢献します。

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

神戸港・姫路港・大阪港をベースとし、5つの営業拠点と5つの物流拠点で事業を展開



姫路倉庫



姫路支店



中国支店





東京支店

大阪物流センター



大阪支店



兵庫埠頭物流センター



神戸物流センター



本社（兵庫県）



六甲タンクターミナル



Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

内航海運事業・港運事業を中心に、物流サービスを全方位カバーし常に最適な物流サービスを提供



海運事業

内航海運
国内の港を結び、大型貨物を内航船を使って海上運送

外航海運
外航船を利用し、海外へ大型貨物を輸送

港運・倉庫事業

沿岸荷役
貨物の積み込みや荷捌き、倉庫やヤード等への入庫・出庫作業

輸出入通関
税関手続・許可

倉庫保管
- 危険品
- 他法令規制対象貨物
- 重量物貨物
- 定温貨物

３PLサービス
荷捌き、梱包、仕分け

トラック輸送

トラック輸送

コンテナ輸送

小口配送

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

80年超の歴史と共に積み上げてきた豊富な経験と実績を活かし最適な物流サービスを提供

内航海運事業

信頼性

鉄鋼材の海陸一貫輸送スペシャリスト

鉄材船オペレーターとしての豊富な経験と実績により、国内大手鉄鋼メーカーからの高い信頼を獲得

人材投資

船員確保・次世代育成に向けた取り組み

内航船員の高齢化・担い手不足問題に早くから向き合い、新人船員の早期育成を可能とする船員育成船への投資や女性船員の育成に注力

パートナーシップ

共存共栄エコシステム

船主オーナーと共存共栄の関係を築き、運航にかかわるあらゆる面をサポート。物流サービスに関わる全ての事業パートナーが共に成長するシステム形成を目指す

外航海運事業

競争優位性

オーダーメイドかつニッチ戦略

輸送ニーズに応じたオーダーメイド配船、地政学マネジメントのノウハウや顧客企業・商社との良好な関係性を基に開拓した競合の少ないニッチな航路の提案

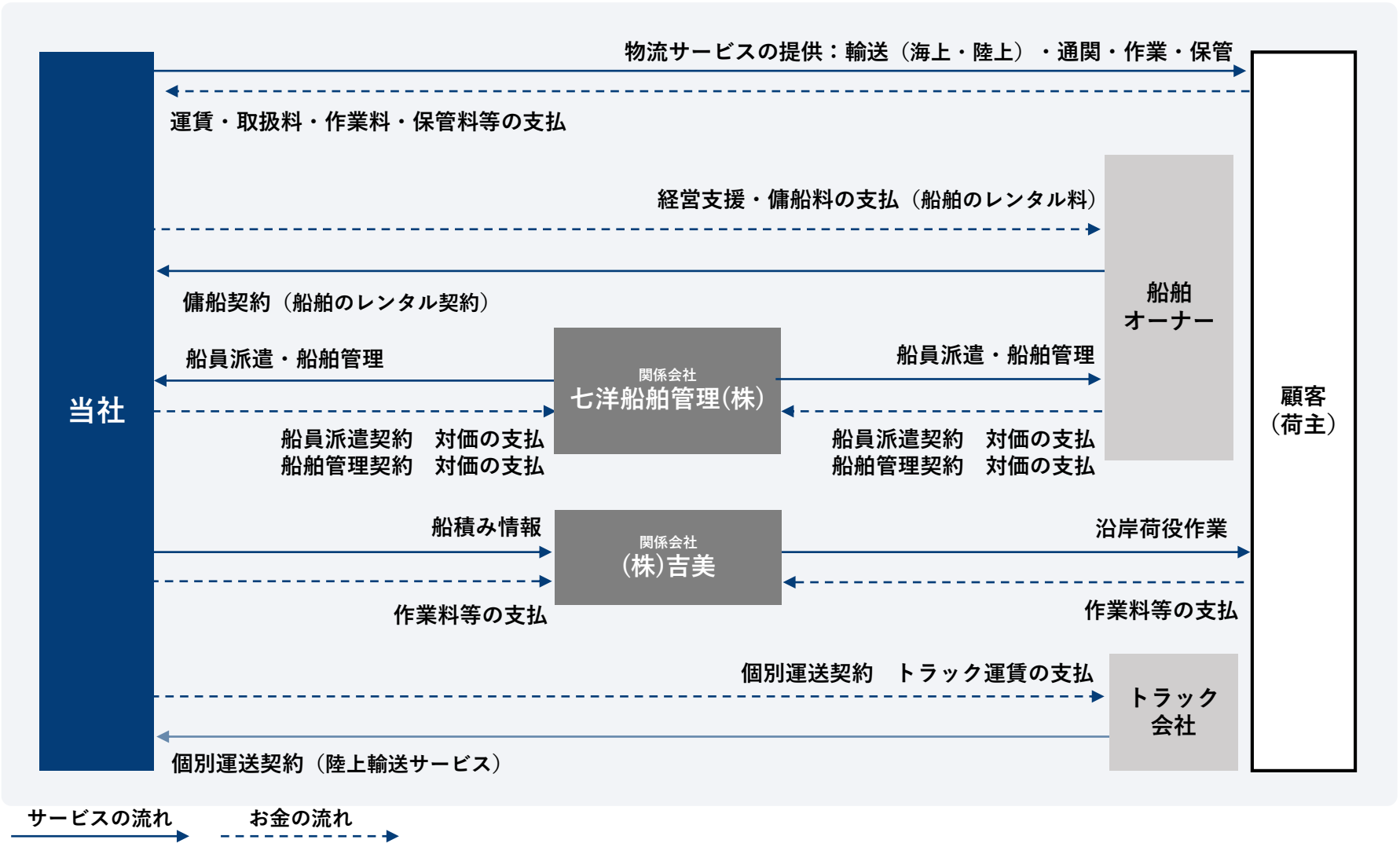
港運・倉庫事業

収益性

高付加価値貨物の取扱

一般貨物に加え、重量物および危険品などの高付加価値貨物の取扱により差別化を図り、収益性の高いビジネスモデルの確立を目指す

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.



Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

新造船「HKL菊水」が就航。
今後も安定した輸送体制と物流品質の向上を推進。

2026年4月22日に進水式が執り行われた新造船「HKL菊水」が、同年6月29日に就航。本船は高知県の有限会社中之島造船所で建造された内航貨物船で、総トン数499トン、積載可能トン数1,650トン、航海速力11.5ノットの性能を備える。

鋼材輸送をはじめとする多様な貨物輸送に対応し、国内物流を支える新たな戦力として活躍。今後も社船の計画的な更新・新造を進め、安全で安定した輸送体制の確保と物流品質の向上を図る。



進水式の様子



航行する「HKL菊水」

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

東京支店の事務所をを移転。
業務効率と営業体制の強化を通じ、首都圏の事業基盤を拡充。

当社は2026年5月7日付で東京支店を移転。今回の移転は、業務効率の向上と営業体制の強化を目的としたもので、首都圏における事業基盤のさらなる拡充を図るもの。

今後もお客様の多様なニーズに迅速かつ的確に対応し、サービスのさらなる向上に取り組む。

＜移転先住所＞
〒105-0021　東京都港区東新橋2丁目8番5号
東京茶業会館4階
※電話・FAX番号等に変更なし





Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

水素燃料電池車普及活動の取り組みに参画。
関西初の燃料電池トラックを導入し、脱炭素物流への改革を推進。

- 協力会社（株式会社大前運送店・株式会社ロジスト）および行政（兵庫県・神戸市）との連携を通じ、**関西初となる燃料電池(FC)小型トラックの導入**による水素社会実現への参画を決定。
- **国の重点地域施策や地域構想**に合致した戦略的な取り組み。
- 次世代型物流インフラの構築を通じた中長期的な企業価値向上と、2050年カーボンニュートラル達成への貢献を図る。



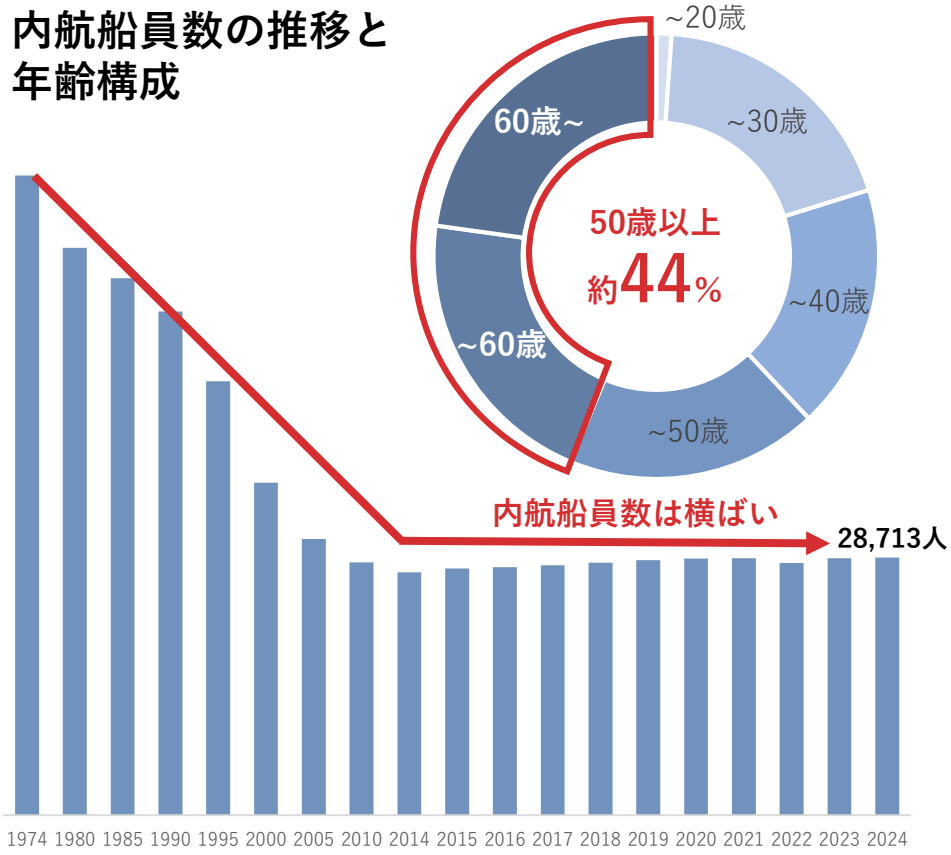
出発式の様子

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

船員確保・次世代育成への取り組み

- 当社は内航船員の高齢化・将来の担い手不足の課題に早くから向き合い、船員の確保・育成に取り組むため、事業パートナーである船主と共同で2013年4月に七洋船舶管理(株)を設立
- **船員育成船への設備投資、女性船員の採用・若年船員の育成に注力**





出典：日本の海運　SHIPPING NOW 2025-2026　貨物船と旅客船の船員合計

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

安全運航への取り組み

- 安全安定の配船サービス提供のため、安全運航への取り組みを最重要視
- 無事故無災害での運航継続を目指し、運輸安全マネジメントを推進し、あらゆる面から安全運航を追及



HYOKIグループの安全管理の取り組み

- 船舶安全輸送管理の専任部署「船舶安全管理室」の設置
- 船舶安全会議の開催（毎月）
- 所属船の船舶オーナーを含めた船舶安全輸送委員会の開催（春・秋）
- 訪船活動（安全教育・注意喚起、設備のチェック、ヒヤリハット事例収集）
- 顧客鉄鋼メーカーや国交省への定例報告
- 無事故無災害の継続優秀船舶に対する表彰制度
- 安全活動項目の数値目標設定

主な重点活動項目

Safety Sail and Safety Delivery

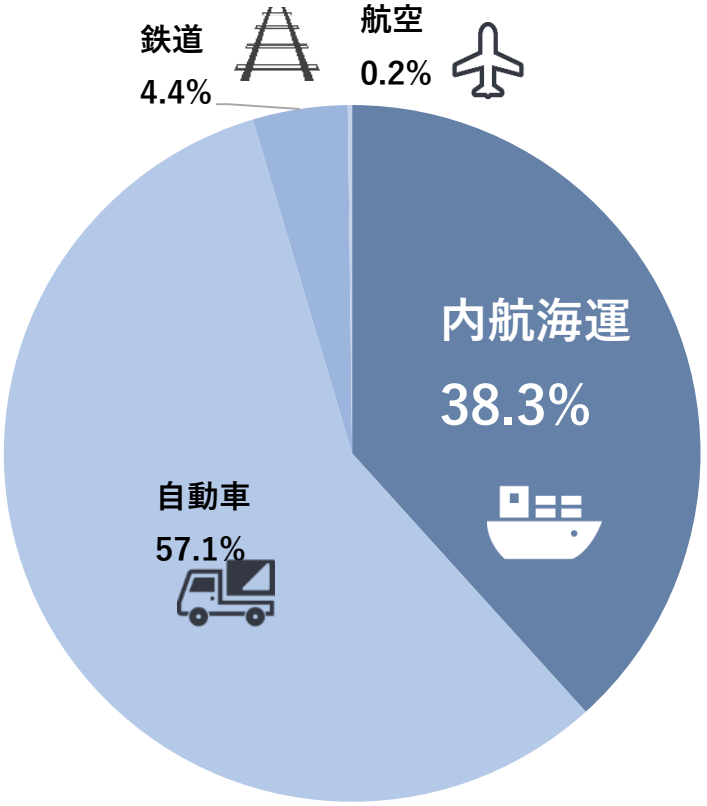
4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
安全運航 船員教育	台風対策の強化 船員災害の防止	船体の整備強化 舱内点検強化	積荷管理 海難防止強化

運輸安全マネジメント制度：輸送の安全確保に関し従来からの各交通モードの事業法に基づく保安監査に加え、運輸事業者自らが経営トップから現場まで一丸となり安全管理体制を構築・改善することにより輸送の安全性を向上させることを目的として、2006年10月に導入された制度

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

内航海運は、国内における大量・長距離輸送の重要な担い手

輸送機関別の輸送割合

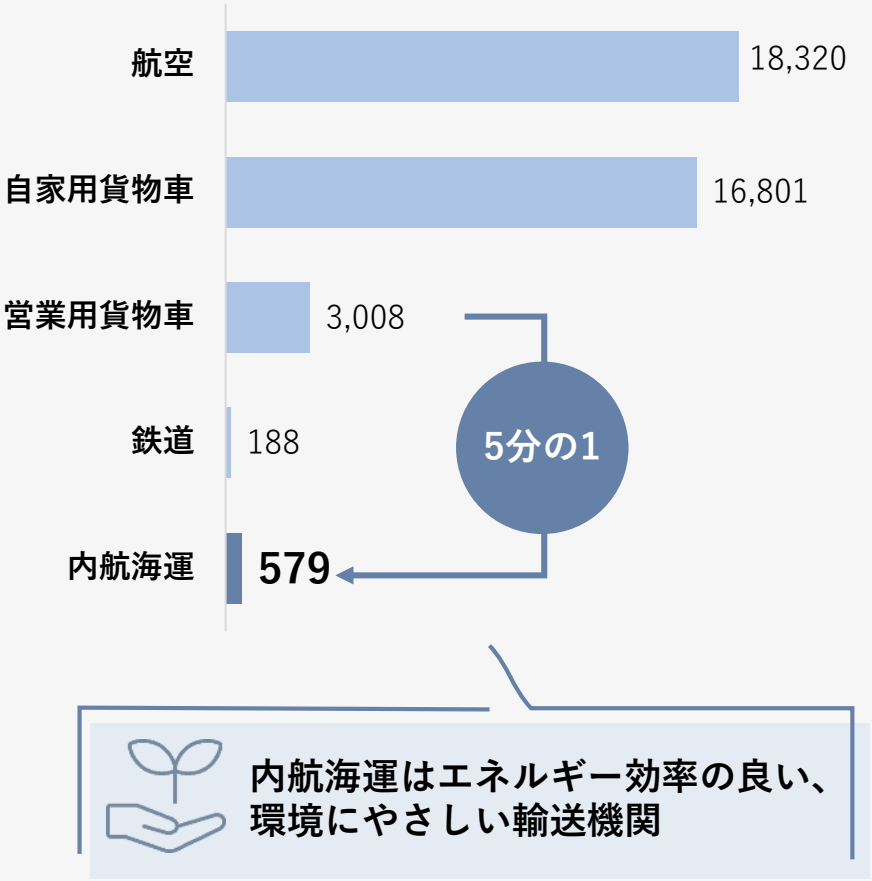


国内貨物輸送の約4割は内航海運
特に石油製品、鉄鋼、セメントなど産業に
不可欠な物資については8割以上が海上輸送

出典：日本の海運　SHIPPING NOW 2025-2026、輸送トンキロベース

1トンキロ輸送するのに必要なエネルギー消費量

（キロジュール/トンキロ）

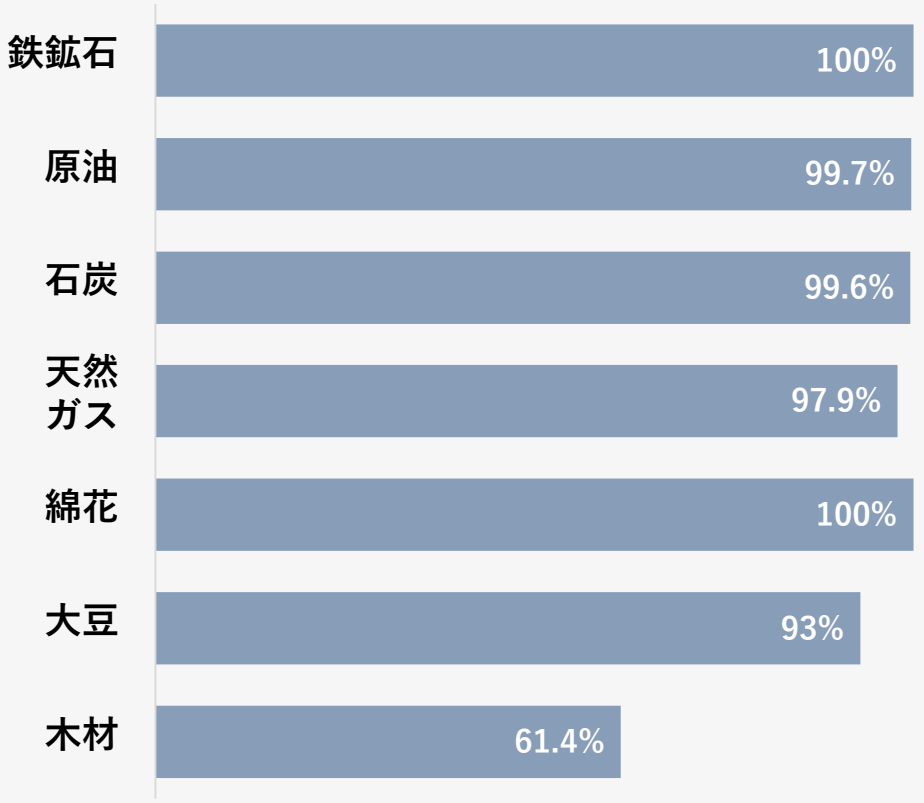


出典：日本内航海運組合総連合会（令和5年度）

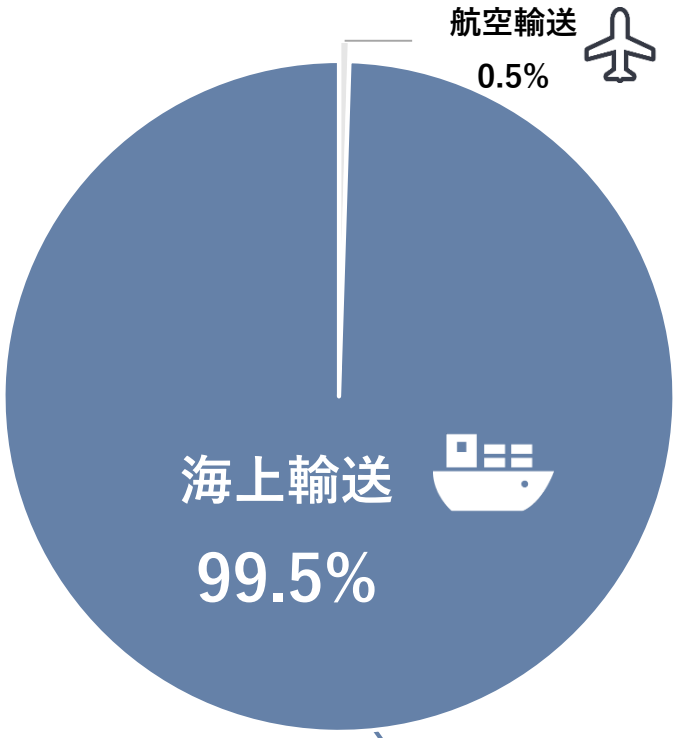
Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

日本のエネルギー資源や衣食住は海外の原材料資源に依存しており、日本の輸出入はほぼ100%海上輸送

主な資源の対外依存度



日本の貿易業における海上輸送の割合



日本における海運はくらしと産業を支える
なくてはならない存在

出典：日本の海運　SHIPPING NOW 2025-2026

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.

本資料のお取り扱い上のご注意

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがございます。
従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

本資料における表示方法について
金額及び比率については、特に記載のない場合、以下のとおり表示しております。

- 表示単位：百万円（単位未満切捨）
- 比率については円単位にて算出し、小数第一位未満を四捨五入

IRに関するお問い合わせ先

兵機海運株式会社　管理部
TEL：078-940-2351　　E-MAIL：hyk_ir_information@hyoki.co.jp

Copyright© Hyoki Kaiun Kaisha,Ltd. All Rights Reserved.